

代表質問 議:議員/理:理事者

- 勝山市の人口減少対策について
- 勝山市の財政調整基金のあり方について

その他の質問
・新年度予算について



市議会 **丸山忠男** 議員



議 市は、全国に向けて女性の結婚・出産への希望をどう叶えるか、産休、育休や子ども子育て施策の充実等、若年女性人口の減少阻止に向けての施策を進めてきた。しかし、現在に至っても人口減少の歯止めには至っていない。人口の自然減対策、社会減対策について市長の見解を伺う。

理 市は「子育て支援日本一」をスローガンに掲げ、不妊治療費や子ども医療費の無償化、保育料完全無償化等を実施してきた。結婚支援や移住定住支援にも注力しているが、こうした施策や魅力ある生活環境を伝えきれていないのが現状である。令和7年度当初予算案の「応援金115（いいこ）」を中心に、各種施策を加えて「115（いいこ）プロジェクト」と位置づけ、市の魅力を市全体が一体となって全国へアピールし、自然減・社会減対策を進め、人口減少に歯止めをかけたい。また、市内の中高校生に勝山市の住みやすさや子育て環境の良さを伝え、将来の生活を考えるライフデザイン教育を推進するなど、子どもたちが勝山に誇りや愛着を持てる取り組みを進めていく。

議 財政調整基金とは、財源が不足した年度に使用する預金のようなものと捉えて通常、決算の剰余金を積み立てることが多く、その適正額は標準財政規模の10%と聞いている。そこで、今後の市債償還を見込みながら財政調整基金の在り方について見解を伺う。

理 財政調整基金残高の基準は条文化されていないが、国や県の指導・助言等では標準財政規模の10%程度が望ましいとされている。令和7年度の決算時点では残高は20億円に達すると考えており、市の標準財政規模の約73億円に対し27.4%となる見込み。市民生活関連の施策の推進への支障はなく今後も健全な財政運営に努める。

代表質問 議:議員/理:理事者

- 小中学校体育館の空調設備の推進について
- 中部縦貫自動車道の道路状況の早期周知について

その他の質問
・「こども誰でも通園制度」の実施について
・「にこにこ妊婦奨励金」について
・「中小企業省力化投資補助金」の周知と活用について



新風会・公明 **安岡孝一** 議員



議 小中学校体育館は子どもたちの教育の場であり、災害時には地域の避難所としても重要な役割を担っている。文部科学省の「臨時特例交付金」を活用して、小中学校体育館の空調設備を推進すべきと考えるが所見を伺う。

理 市内の小中学校体育館12館のうち、空調設備が整備されているのは成器西小学校のみ。熱中症防止や避難所機能の強化、社会体育活動等における快適な環境の整備を目的として、令和7年度は成器南小学校第2体育館と荒土小学校体育館の実施設計を行い、令和8年度から順次工事を進め、令和10年度までに全小学校体育館への設置を目指す。文部科学省の「空調設備整備臨時特例交付金」を活用し、計画的に整備を進める。中学校については、新中学校開校後の施設活用状況に応じて検討する。

議 通勤のために毎日のように中部縦貫自動車道を利用されている多くの方々に、突発的な事故や積雪等による縦貫道の通行止めを勝山インターまで行かずとも、通勤前に家で確認できるようなSNSを利用した発信や勝山インター手前に道路標示板を設置することは出来ないか。

理 中部縦貫自動車道の事故や通行止めなどの道路情報は、福井河川国道事務所のホームページやSNS、勝山インター出入口付近の道路情報板や道の駅「恐竜渓谷かつやま」で周知を行っている。今後、市のホームページに関係機関の情報リンクを掲載するなど、福井河川国道事務所と協力しての周知を検討していく。まずはホームページやSNSなどによる情報取得の推進を図りながら、必要に応じて道路情報板の追加設置について検討していく。